



ほうへいかいほう

Vol.91 2023.9.15

豊平會報

Farewell Party

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 木村勝照 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161

University of Lethbridge S



CONTENTS

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 2 令和5年度評議員会開催 | 10 同窓生のお店探訪 / 豊平会 100円満腹弁 |
| 3 評議員改選 | 11 第69回対東北学院大学総合定期戦 / 思い出の写真・資料 |
| 4 新学長 森下宏美先生ご挨拶 | 12 前同窓会長森本正夫先生銅像建立除幕式 |
| 5 輝く北のまち紹介リレー 上富良野町 | 13 令和4年度事業報告 / 令和5年度事業計画 |
| 6 佐藤嘉大先輩との思い出 | 14 令和4年度収支決算書 |
| 7 研究室のいま 新沼協准教授 | 15 令和5年度収支予算書 |
| 8 「同窓の夕べ」開催ご案内 | 16 事務局からのお知らせ |
| 9 支部だより | |

2023年度カナダ・レスブリッジ大学
交換学生研修送別会 (6月22日)

写真提供: ㈱ラポット

令和5年度 評議員会開催

事業計画など原案どおり承認



令和5年度評議員会が6月23日(金)午後6時から札幌パークホテルにて開催され、卒業期評議員78名、地域・職域支部評議員44名、計122名(委任状含む)と役員42名(委任状含む)が出席した。

関寛会長からご参集への謝意が述べられた後、開会が宣言された。続いて森本正夫先生銅像建立の報告と物故会員へ全員で黙祷を捧げた。

議長に佐藤寿一氏(札幌東区支部長・評議員/経済学部1部経済学科 第20期・昭和48年卒業)、副議長に諏訪勝宏氏(経済学部1部経済学科 第38期・平成3年卒業)、議事録署名人に五味川博都志氏(札幌南区支部長・評議員/法学部1部法律学科 第6期・昭和47年卒業)、久保肇氏(豊陽会長・評議員/経済学部1部経済学科 第35期・昭和63年卒業)を選出して議事に入った。

第1号議案

令和4年度事業報告並びに収支決算について、木村事務局長より、事業並びに予決算には昨年度審議した懸案事項に係る検討委員会の協議結果を反映させて行った旨の説明があり、事業報告はコロナ禍ということもあり実施を見送る会合もあったが幹事会、評議員会をはじめ各種委員会等は予定どおり実施し、また、会報の発行、奨学金事業も従来どおり実施され、森本正夫先生顕彰事業への寄付金募集も行ったことが報告された。

収支決算報告は事業報告のとおり執行され、詳細は決算書に記載のとおりであることが説明された。

第2号議案

監事を代表して横谷貞夫監事より資料に基づいた報告が行われ、1号2号議案は原案どおり承認された。

第3号議案

令和5年度事業計画(案)並びに予算(案)について、木村事務局長より会報の合本とデジタル化、引き続きホームページの利便性向上、在学生の経済支援と健康管理のための食事提供、支部長会議と総会の開催、大学院生への奨学事業の実施などについて説明を行った。

令和5年度予算案は、コロナ禍前の水準での事業実施を見込んで編成し、同窓の夕べの会券収入の計上、新入会員歓迎会経費、母校行事協力費、支部活動支援費の予算化、デジタルアーカイブス、広報発信強化のための予算の計上、また、森本正夫先生顕彰事業寄付金について目標を上回る協力があつたため、差額は会として大切に使用させていただく旨、説明があり承認された。

第4号議案

評議員の改選について、木村事務局長より改選期にあたり意向確認を行ったところ、卒業期評議員から25名の辞退があり深刻な状況であること、一方地域職域支部評議員は一部を除き充足していることの報告と評議員選出規程についての説明がされた。経済・法学・工学部は平成11年度以降の評議員が不在なため、規程の定めどおり幹事会の承認を得て推薦し、併せて人数や選任も新たに検討したい旨、説明があり承認された。

第5号議案

会則の改正について、城副会長より定年制、重任・年齢制限、退任後の処遇、監事の有資格者の登用。

会務の円滑な推進を図るため、従来の事務局会議を常任幹事会の役割も担う正副会長会議に名称を改める。このことにより常任幹事会を廃止する。女性役員を積極的

に登用可能な方向での改正とする旨、説明された。

続いて木村事務局長より、同窓会会計規程中、卒業に至らなかった予備会員会費を返還することが出来るに改める改正提案があった。施行は令和6年4月1日。

奨学支援実施細則の改正について、現行の同窓会第1種奨学金は、学部生19名に月額1万円(年額12万円)支給している。この提案は、学部生に加え、同窓の母校教員養成を目指して5研究科の修士課程院生に各1名年額12万円の新たな制度を設けるもの。本学では制度上、修士課程に対する奨学金の実績がない状態が続いている。これらの状況を改善する手立てと考えている。

国による大学院生に対する奨学支援事業も議論されていることも注視したい旨、説明があり承認された。

第6号議案

同窓会奨学金について、木村事務局長よりこれまでの月額支給から年額一括支給に改めたこと、対象者は7月

同窓会評議員改選

任期満了に伴う改選で次のとおり決まりました。任期は、令和5年6月30日から令和9年6月29日迄です。◎印は新任、他は再任

卒業期評議員

Table with columns for graduation year and name, divided into sections: 経済学部1部, 法学部1部, 法学部2部, 工学部, 経済学部2部, 人文学部2部.

に発表し、授与式については大学と協議する旨、説明があり承認された。



※準支部

支部評議員

Table listing branch names and member names, organized into two columns.

退任評議員

長い間ありがとうございました。お疲れ様でございます。

Table listing retiring members, organized into sections: 経済学部1部, 法学部1部, 法学部2部, 工学部, 経済学部2部, 人文学部1部.



[新学長ご挨拶]

学長 森下 宏美

4月1日より森下宏美経済学部教授が11代目学長として就任しました。

北海学園大学同窓会のみなさま、このたび、安酸敏眞前学長の任期満了に伴い、4月1日より学長に就任いたしました森下宏美です。これからの4年間、みなさまのご協力とご支援のもとに大学運営に携わり、北海学園大学のさらなる発展に尽くす所存です。どうぞよろしくお願いたします。また、同窓会のみなさまには、学生・院生への奨学金、100円ランチプロジェクト、また、コロナ禍のもとでの食糧支援など、日頃より多大なるご支援をいただいております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

私は、1955年に小樽で生まれ、大学に進学するまで小樽で暮らしました。高校卒業後は、福島大学の学部と修士課程、北大の博士課程で学び、釧路短期大学での勤務を経て、1995年に、本学経済学部に着任しました。経済学部での担当授業科目は経済学史、経済学の歴史です。300人を超える受講生を前にしての講義は初めてでしたので、とても緊張したことを覚えています。研究テーマは、イギリス古典派経済学と救貧思想です。2001年に、このテーマに関する一著を出版しました。19世紀の前半のイギリスにおいて、救貧法や貧民の被救済権を否定するマルサスに対抗して、資本主義経済だからこそ被救済権が保証されなければならないと主張した経済学者たちの理論と思想をまとめたものです。これを書くことができたのは北海学園大学に職を得たからこそであると思っています。研究資料が整っていたことに加え、当時経済学部で、11人の所属教員の単著を、日本経済評論社から「現代経済政策シリーズ」として出版する計画があり、それに加えていただいたことが契機となりました。現在、その後続企画として、「シリーズ社会・経済を学ぶ」を順次公刊しており、すでに16冊が出ています。学部単独でこのようなシリーズを出しているところは、他には例がないと思います。

北海学園大学に来たからこそ得られた貴重な経験がも

うひとつあります。それは、北海学園大学グリークラブのOB会のみなさんとの交流です。今から10年ほど前に、グリークラブの部長となったことをきっかけに、OB合唱団のメンバーに加えていただきました。福島大学時代にグリークラブに所属していたのですが、卒業後はまったく遠ざかっていましたので、40年後に再びこうして男声合唱を経験できるとは思っていませんでした。この10月8日には、キタラ小ホールでOB合唱団の第4回演奏会が開催されます。学長となってから少し休みがちではありますが、みなさんと一緒に歌えるよう練習に励んでおります。

私が本学に着任した当時は、第二次ベビーブーム世代のすぐあとの世代が大学に進学する時期でしたので、本学でも1万数千人もの受験者がいました。しかし今、少子・高齢化そして人口減少が進む中、大学を取り巻く環境は厳しさを増しております。そのような中において、北海学園大学は、学術研究を通じて地域社会に貢献する大学、地域社会の担い手を育てる大学として広く支持され、これまで以上に北海道民から必要とされる大学・選ばれる大学とならねばなりません。

本学が北海道の地域社会の未来のためになしうること、なすべきことは大きいと思います。本学は、道内最大の私立総合大学として、経済、経営、法、人文、そして工の分野で培ってきた知見と教育実践の豊富な蓄積を有しております。それらの知見と経験を、北海道の地域社会の未来を切り拓くための、総合的な知識・総合的な知恵にまで高めることによって、教育と研究、そして地域連携における独自の貢献をなしたいと考えています。そのような北海学園大学をめざして、一歩ずつ歩みを進めてまいりたいと思います。みなさまのご支援・ご鞭撻、どうぞよろしくお願いいたします。また、大学といたしましても、同窓会活動の発展のために努力を惜しまないつもりであります。キャンパスにも学生たちの元気な声に戻ってまいりました。折がございましたら是非お立ち寄りください。

輝く北のまち 紹介リレー



かみふらのちよう
⑩ 上富良野町

～北海道のほぼ中心に位置する風光明媚な「四季彩のまち」～

人口：9,987人
面積：237.10km²
(令和5年6月末現在)



日の出公園のラベンダー

上富良野町は北海道のほぼ中央、富良野盆地の北部に位置し、東に十勝岳、西に夕張山地、北にパッチワークの丘陵地帯、南に市街地が開け、市街地を囲んで牧歌的な丘陵とカラマツ林の景観が続いています。

本町の開拓は明治30年に三重県より一行8名が単身で入植したのが始まりで、今年で126年となります。

開拓以来、農業を中心に発展し、大日本麦酒（現サッポロビール）が大正12年に行ったホップ試験栽培の結果、気候・風土・収量・品質など総合して最も優れている事が判明し、大正15年に上富良野ホップ園を開設し、契約栽培を開始しています。このように上富良野とサッポロビールとの関係はおおよそ100年にも亘る歴史があります。

大正15年は十勝岳噴火の年でもありました。5月24日の噴火は、残雪を溶かした泥流が市街まで流れ下り、死者・行方不明者144名の大災害となりました。当時の人々の様子は、三浦綾子の小説『泥流地帯』『続泥流地帯』に描かれています。

昭和23年に農作物としてのラベンダー栽培を始めた「ラベンダー発祥の地」でもあります。

昭和30年、上富良野駐屯地の開設を機に陸上自衛隊が駐屯し、昭和35年の国勢調査では人口17,101人となりました。今年で開庁68周年を迎え、記念行事等で振舞われるカレーが好評を博しています。



ホップの球花

齊藤 繁
上富良野町長

法学部1部法律学科
第25期・平成3年卒業



上富良野名物の豚さき

十勝岳温泉の歴史は、明治末期に温泉宿の営業が始まり、昭和7年には吹上温泉が湯治場として栄えていましたが、昭和18年に廃業していました。その後昭和38年に十勝岳温泉凌雲閣の営業が開始され、十勝岳温泉郷の歴史が再び始まります。

上富良野町は農業、商工観光業、自衛隊を町の産業の三本柱としています。農業は米、麦、豆類、野菜類のほか特産品のメロン、ホップ、豚肉、牛肉など多様なものとなっています。十勝岳やパッチワークの丘陵地帯、ラベンダーなど多くの観光客が国内外から訪れますが、地元農産物との親和性も高く、多くの方に高評価を頂いています。

私は平成3年3月に卒業し同年4月に上富良野町役場に就職しました。地元のためになるのならばと、札幌を離れることに寂しさはありませんでしたが、30年以上たった今でも札幌を訪れると、当時のことを思い出します。

現在地方では人口減少による過疎化や高齢化が顕著となっています。故郷を何としてでも未来に繋げたいという思いで日々挑戦しています。私も就職した当時は、自分が町長になるとは考えてもいませんでしたが、遠い将来のことは誰もわからないものです。若い皆さんは是非近い未来の目標でも構いませんので何かに挑戦、そして挑戦を楽しんで欲しいと思います。必ず将来の糧となることと思いません。最後に皆さんのご健闘を心よりお祈りいたします。

佐藤嘉大先輩との思い出



北広島市議会議員
北海学園大学体育会硬式野球部監督

島崎 圭介

経済学部 2部経営学科
第26期・平成6年卒業

佐藤さんとの出会いは、私が北広島市議会議員になった後の2017年でした。2016年に本市が北海道日本ハムファイターズの新球場、ボールパーク構想の誘致活動を推進する際、本学卒業生の先輩から当時北海道の総合政策部長であった佐藤さんのご紹介を受けました。

道庁にお伺いした際には、柔和な笑顔で出迎えていただき「私、島崎さんの現役時代のピッチング知ってますよ」と第一声をいただきました。本学の先輩と言うことはお聞きしておりましたが、北海道庁に入庁後に2部法学部に入学し、6年かけて卒業された話を初めてお聞きしました。

佐藤さんは、「周囲にも市役所や警察官の方などが居て、2部の学生と言うのは本当に真剣に講義に取り組んでいるなあと言う印象でしたよね。そして私も周囲の方々のおかげで、結構単位を取らせてもらったなあ」と冗談交じりにお話しいただいたことが昨日のことに思い出されます。

私の大学野球部時代の円山球場での試合を見ていただいたことについては大変驚きでしたが、その後の私の歩んだ道についても詳しくご存じで、当時の大学硬式野球部コーチ(現・監督)のお話や、2部生に120人の部員がいることなどを話しました。

ボールパーク構想の相談にお伺いしたのに、すっかりお互いの大学時代や現在の北海学園大学のお話に花が咲きました。佐藤さんは「北海学園大学の卒業生も北海道中で頑張っているよね。特に私たちが学んだ『学園の2部』は北海道の宝だ!と心から思っていますよ。」と…。

私が北広島市としてボールパークの誘致を成功させたい、札幌市と対立するのではなく北広島の良いところそして北海道のファイターズとして北広島市を選んでもらうためにはどうしたら良いのかなどを相談したこと、これも昨日のことのようです。

その後も様々なアドバイスをい

ただき、議員としての役割、動き方、そして札幌市や道との対応の方法など丁寧にご教示くださいました。

このアドバイスをもとに、私は北広島市として、また市議会議員としてどう動くべきかの、道標(みちしるべ)をいただいたと思っております。

その後、北海道の教育長となられ、2020年の新型コロナウイルス対策において先陣に立っていた矢先の訃報を知り、大変な悲しみを覚えました。

ファイターズの担当部長も、たびたび佐藤さんの元を訪れ相談をしていたとのことを入づてに聞き、やはり佐藤さんはこの「北海道ボールパーク建設の道標」の方だったのだと改めて感じております。

佐藤さんのご功績をしのび、ファイターズはボールパークに「ユース通り」と名付けた場所に石碑を設置してくださいました。私も開業と同時に石碑を拝見し、このご功績が後世に伝えられると心から嬉しく思っております。

「北海道のシンボルとしてファイターズがどこに行っても応援するし、北広島市や島崎さんのチャレンジは心から応援しているよ」と言ってくださったことを胸に、これからも市政の発展に尽くし、また硬式野球部監督としても学生たちに佐藤先輩の功績を伝えていきたいと思っております。

北海道や北海学園大学のこれから、そして北海道ボールパークの発展を永遠に見守ってください。



佐藤嘉大さんの名前が刻まれた石碑

元北海道教育委員会教育長、佐藤嘉大(法学部2部法律学科 第23期・平成元年卒業 令和2(2020)年4月4日没 享年62歳)さんを偲び親交のあった島崎圭介さんに寄稿をお願いしました。

教育長として、直面した令和2(2020)年のコロナ対策では、保健衛生行政に精通した専門家として、全国に先駆けて一斉休校や分散登校を実践し注目を集めました。

今年開業したエスコンフィールド開設に尽力し、記念碑にその名が刻まれています。志を持つ人を大切にする方でした。



工学部生命工学科准教授

新沼 協

NIINUMA Kanae

研究室のいま

一担当科目

生物学概論、遺伝子工学Ⅰ・Ⅱ、
バイオテクノロジー実習Ⅰ 他

- 経歴 1975年苫小牧市生まれ。筑波大学大学院博士後期課程生命環境科学研究科修了。博士(理学)。2008年理化学研究所植物科学研究センター基礎特別研究員。2011年筑波大学筑波大学大学院生命環境科学研究科研究員。2012年本学着任。
- 所属学会 日本植物バイオテクノロジー学会、日本DNA多型学会、日本ブドウ・ワイン学会 他
- 研究業績 Circadian Rhythm of Circumnutation in Inflorescence Stems of *Arabidopsis* (2005) *Plant and Cell Physiology*, 46(8), 1423-1427. 筆頭著者として初めて書いた、研究者を目指すきっかけになった論文

教員としての第一歩を踏み出した生命工学科

生命工学科は、バイオと情報技術の融合を目指した教育・研究を行っている、2012年に開設された本学で一番新しい学科です。私の専門分野は植物分子生物学で、本学科の開設と同時にバイオ系の教員として着任しました。着任以前は研究所や大学で研究員をしておりまして、大学教員としての第一歩はこの学科で踏み出しました。

生物学の楽しさを伝えたい

私が目指す教員像は現在も模索中ですが、目標の1つに、学生に生物学や研究の楽しさを伝えたいということがあります。実は、私は小学校、中学校、高校と、「生物」の成績はあまり良くありませんでした。なぜなら、私が「生物」を暗記科目だと思っていたからです。その一方で、私は子供の頃から生き物が大好きでした。犬や猫、テレビで見るアフリカゾウ、裏山の植物、何でも好きでした。ですから、進学する大学を決める時には、生き物に関わりたいたいという気持ちは変わらず、生物系の学科を選びました。

驚いたことに、大学では、それぞれの生物や現象に興味を持って研究している専門家達が、学生のために先生をしてきていました！（もちろん大学とは本来そういう場所なのですが）。「生物が生存するために使う巧妙な戦略」「今まで研究者がそれに関して調べてきたこと」、「これからどうやって調べたらいいの？」など、おもしろい授業や研究成果を聴きました。そして、生物学は全く、暗記科目ではないことがわかりました。私が学生時代に先生方から教えていただいたように、今いる学生たちにも生物学や研究の面白さを伝えられたらと思っています。

研究室のいま

学生に生物学・研究の面白さを伝える機会の1つに、卒業研究の指導があります。生命工学科では、4年次に全ての学生が約1年間にわたり卒業研究に取り組みます。私の研究室では、1期生の代から同学科の小山芳一先生の研究室と一緒に、合同ゼミをさせていただいております。小山先生のご専門は医化学分野、私は植物を中心とした分子生物学的分野と、同じバイオ系でも取り扱うテーマは異なりましたが、この合同ゼミは、学生にとって相手の専門分野に合わせてプレゼンする訓練や、教員同士のディスカッションを身近で聞くいい機会となりました。さらに私自身にとっても、小山先生とディスカッションさせていただく貴重な時間として、異なる分野からの新しいアイデアや洞察を数多くいただきました。



小山先生、早矢仕先生の研究室と一緒に

また、小山先生が「生命工学科の知識と技術で地域貢献をしたい」との思いから始められた八剣山ワイナリー（札幌南区）との共同ワインプロジェクトに、私の研究室も参加させていただき、学生たちの研究によりブドウ畑の土から単離・選抜された酵母を使用した学園オリジナルワインの一般販売の実現にもつながりました。完成した際には小山先生や学生たちとそのワインで乾杯して喜び合いました。残念ながら、小山先生は昨年度で退官されてしまいましたが、今後もこのワインプロジェクトを大切に受け継ぎ、発展させていきたいと思っています。

今年も研究室の学生たちと一緒に、白衣を着て実験室で実験をしたり、リュックを背負ってサンプル採集に出かけたりしています。学生たちとの研究が楽しくて、「次は何する？」と学生を急かしてしまっていないか心配になることもありますが、学生たちも楽しんでくれているといいなと思っています。



学生の研究から生まれた酵母HGU-140とHGU-154を使った学園オリジナルワイン



北海学園大学同窓会「豊平会」
令和5年度総会・懇親会

日時

2023年10月21日(土)

受付 / 17:30 ~ 総会 / 18:00 ~ 18:30
懇親会 / 18:30 ~ 20:30

会場

札幌パークホテル 3階パークホール
札幌市中央区南10条西3丁目
TEL 011-511-3131 (着席制・会場内禁煙)

司会

森基誉則・吉野圭子 (学園大OB・OG)

会費 5,000円(税込)

賛助出演 / 現役学生
全学応援団
指導部演舞



1954年からの学園をたどる
スライドショー
学園クロニクル



何が当たるか
お楽しみ!
学園グレート
ビンゴ!!

会券のお求めについて

卒業期評議員・地域 / 職域支部評議員・同窓会事務局へお問い合わせください。※当日券もあります。
会券郵送ご希望の方は、下記金融機関にて代金をお振込みいただき (振込手数料についてはご負担願います)、
ご入金確認後、郵送いたします。

- ・北洋銀行 豊平支店 口座番号 / 普通 0511055 口座名 / 北海学園大学同窓会
- ・ゆうちょ銀行 二七九店 口座番号 / 当座 0011355 受取人名 / 北海学園大学同窓会事務局

お申し込み・お問い合わせ先

北海学園大学同窓会事務局

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 6号館1階
TEL 011-841-1161 (代) 担当 / 三宅 (内線 1148)・工藤 (内線 1168)
FAX 011-816-1001 E-mail : doso.hgu@k8.dion.ne.jp

支部だより(支部総会写真)

2023 (令和5) 年4月以降実施分



山岳部 OB 会 (4.22)



木端会 (5.20) リモート開催



帯広信用金庫支部 (5.20)



札幌南区支部 (5.20)



小樽支部 (5.25)



北海道大学支部 (5.26)



千歳支部 (5.26)



関西支部 (6.10)



グリークラブ OB 会 (6.10)



応援団 OB 尚志会 (6.23)



蝸牛会 (7.6)



自衛隊支部 (7.8)



札幌東区支部 (7.12)



伊藤組土建支部 (7.19)



札幌市役所支部 (7.27)



はこだて柳屋 本店外観

Vol. 05

同窓生の
お店探訪

はこだて柳屋

函館市万代町 3-13
電話 0138-42-0989
<http://hakodate-yanagiya.com/>

若杉 充宏 さん

経済学部 1部経営学科
第16期・昭和59年卒業



1997年から販売の「いかようかん」

創業時はせんべい店から営業を開始し、昭和24年に法人化して株式会社はこだて柳屋として現在に至っております。

和菓子の製造販売を、本店を中心にコープさっぽろ様、アークス様等の店舗内テナント店での自社販売、JR駅舎内や空港、道の駅でのお土産売り場や、冠婚葬祭関連が主な販売先です。

本学を卒業後、同窓会前副会長でもいらした名塩先輩の(株)ナシオ様に5年間お世話になり、コンビニエンスストア成長期のセブンイレブン担当営業として、小売流通の最先端を勉強させていただきました。その後函館に戻り、平成17年に先代父の逝去に伴い、弊社3代目の社長として奮闘しております。

コロナ前とコロナ後の商売を取り巻く世の中の激変に大きく戸惑い、また各種SNSやキャッシュレス等、新世代の商売の変化に何とか対応しています。

本店：
営業時間 8:30~20:00 不定休
各テナント：
営業時間 10:00~19:00 定休日なし

豊平会100円満腹丼

学園大生の食を支援

100円満腹丼

Presented by 北海学園大学 同窓会

5/1 (月) 鶏の梅しそ天丼	5/9 (火) 味噌ヒレカツ丼
5/17 (水) キーマカレー・チキンカツ丼	5/25 (木) オムハヤシ チーズメンチカツ丼
6/2 (金) ミートソース・ハンバーグ丼	

※各日程 300食限定 (10:30~14:00 = 200食、14:00~18:00 = 100食)
※お一人1食限り
※100円支払はG payのみ可
※現金ではこのメニューをご利用いただけません

北海学園大学同窓会 豊平会

安価で安心安全な食事の提供を行い学生の食生活をサポートする「^{ほうへい}豊平会100円満腹丼」を豊平キャンパス生協食堂にて5月1日(月)、9日(火)、17日(水)、25日(木)、6月2日(金)計5日、1日300食限定で提供しました。

新入生やコロナ禍で十分なキャンパスライフを送れずにいた在学学生を応援することを目的にしたものです。売価600円の内500円を同窓会が負担することで実現したメニューは、いずれも大好評ですべての日程で完売しました。

また、5月11日(木)に森下宏美学長をお招きして、関会長、宮本副会長、大澤副会長、城副会長、板垣副会長、日和副会長、木村事務局長、事務局員にて試食会を行いました。



5月1日(月)のメニュー 鶏の梅しそ天丼



5月11日(木)の試食会

第69回対東北学院大学総合定期戦



第69回対東北学院大学総合定期戦が6月23日(金)～25日(日)、札幌で開催されました。コロナ禍の影響で4年ぶりの札幌での開催は熱戦が繰り広げられ、本学は軟式野球、準硬式野球、ハンドボールが勝利を収めました。総合成績は3勝15敗となり、東北学院大学が優勝しました。来年は仙台で第70回の節目を迎えますが、本学の初優勝に期待します！

グリークラブOB会 第4回演奏会のご案内

日時：10月8日(日) 開場12時30分 開演13時00分

会場：札幌コンサートホールKitara 小ホール 札幌市中央区中島公園1-15

入場料：1,500円

チケット取り扱い：Kitara チケットセンター、道新プレイガイド、札幌市民交流プラザ

お問い合わせ：グリークラブOB会 西本 090-8909-8652

演奏曲、練習の様子などはこちらから→



後藤ゼミOB会



7月29日(土) 18時00分よりグランド居酒屋富士すすきの店で後藤ゼミOB会が開催されました。30名のOB・OGが集まり、先生の奥様、ご息子とも懇親を深めました。後藤啓一教授が亡くなられて13年、先生の生誕100周年を目標に、来年もたくさんのOBが集まってくれることを期待しています。

思い出の写真・資料①

『豊平会報』第90号にて募集しました「北海学園大学同窓会デジタルアーカイブス」作成のための思い出の写真・資料につきまして、事務局に届いた一部をご紹介します。ご提供くださいました卒業生の皆様に感謝申し上げます。2024年同窓会設立70周年に向けて公開の準備を進めております。



左／第3回対東北学院大学定期戦記念品
(開催地：札幌)

右／第4回対東北学院大学定期戦開会式
終了後、仙台市青葉町を行進

提供：滝口鉄夫さん

(経1経8期・昭和36年卒業)

前同窓会長 森本正夫先生銅像建立除幕式

森本正夫先生顕彰委員会（本会、北海商科大学同窓会、森本ゼミ会、学校法人北海学園）のもとで進めていた前同窓会長森本正夫先生の銅像が完成し、6月3日（土）午前11時00分より豊平キャンパス教育会館1階にて除幕式が執り行われました。森本先生は昭和51年に理事長に就任、昭和54年に同窓会長に選出され、北海学園、北海学園大学同窓会のためご尽力されました。除幕式には、ご遺族、関係者30名余りが参列し、在りし日の先生を偲びました。お近くにお越しの際はお立ち寄りください。



森本正夫先生顕彰委員会 寄付のお礼

この度の森本正夫先生銅像建立にご寄付いただいた皆様に深く感謝申し上げます。
お陰様をもちまして目標を上回るご協力がありました。差額は会として大切に使用させていただきます。

寄付者ご芳名（敬称略）

個人					
5千円以上	石井あゆ子	茅野紀行	高谷康博	牧 拓緒	
1万円以上	石山玄一 櫻田 久 早坂久良	荏原淑晴 東雲 優 福田和夫	大澤定雄 下岡隆文	柿崎 勲 須賀洋子	木村勝照 田村治夫
3万円以上	小西政秀	小林 博	清野 満		
5万円以上	澤田泰子	50万円以上	関 寛		
100万円以上	小川眞治	金額非公表	匿名1名		
支部					
1万円以上	北見支部	3万円以上	豊陽会		

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I. 一般事業

1. 豊平会報の発行

豊平会報 第88号 送付	4. 4.13	経・営・法・人・工学部の住所確定会員41,341名に送付
豊平会報 第89号 印刷・送付	4. 9.15	経・営・法・人・工学部の住所確定会員41,826名に送付
	4. 9.30	新会員(令和4年9月卒業)93名に配布
豊平会報 第90号 印刷・配布	5. 3.21	新会員(令和5年3月卒業)1,726名に配布

2. 支部等との連携強化と育成(支部等活動状況～同窓会本部に連絡のあった分)

新型コロナウイルス感染リスクを避けるため、感染防止対策を徹底した上で総会を実施するよう協力を依頼した。延期を文書で依頼をしたため、対面での開催はない。

4. 4	山岳部OB会総会	書面開催	4. 7	蝸牛会総会	書面開催
4. 5	帯広信用金庫支部総会	書面開催	4. 8. 20	札幌南区支部総会	
4. 5	北海学園大学支部総会	書面開催	4. 8	会計学友会総会	書面開催
4. 6.17	北翔会総会		4.11.26	関西支部総会	
4. 7. 2	応援団OB尚志会総会		5. 1.11	豊陽会総会	
4. 7. 9	自衛隊支部総会		5. 2.18	北社会総会	

3. 新会員名簿の作成(豊平会名簿 令和4年度版)

令和4年度新会員(令和4年9月卒業・令和5年3月卒業)の名簿整理を行い、事務局保管分の冊子を作成した。

4. 「卒業祝賀会・新会員入会歓迎会」の開催

5. 3.21 卒業証書・学位授与式と「北海道立総合体育センター「北海きたえーる」にて挙行され、新会員(1,726名)に卒業記念品を配布した。卒業祝賀会・新会員入会歓迎会は飲食が伴うことから新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

5. 「ホームカミングデー」の開催

4. 10. 18 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため同窓会・大学共催による第13回ホームカミングデーは中止した。

6. 「全国支部長会議」の開催

4. 10.22 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、「同窓の夕べ」総会・懇親会を伴わない会議形式で「令和4年 拡大全国支部長会議」として開催した。

7. 「総会・懇親会」の準備・運営

世話人・協力団体会議 (第1回)	4. 8.19	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常どおりの「同窓の夕べ」開催は難しいことから、第1回・2回とも会議は開催しなかった。
(第2回)	4. 9.15	
「同窓の夕べ」総会・懇親会	4.10.22	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飲食を伴わない会議形式で支部長、評議員、役員、事務局員のみ出席で「令和4年 拡大全国支部長会議」として開催した。

8. 母校行事への協力

お祝いの看板(祝卒業)	5. 3. 8	3号館 学生正面玄関
"	5. 3. 8	4号館 入口前門柱
"	5. 3. 9	工学部 1号館前柱
"	5. 3. 9	工学部 3号館入口
(祝入学)	5. 3.27	3号館 学生正面玄関
"	5. 3.27	4号館 入口前門柱
各団体への経費助成		十月祭・工学祭・対東北学院大学定期戦 全国大会出場・定期公演・旗奉巻等助成 体育会系17団体・文化会系7団体 400人分(精米5kg339袋・2kg61袋レトルト食品・カップラーメン)を配布
「食料支援プロジェクト」 (主催学生自治会・学園生協。後援同窓会)	4.12.18	

9. 会務運営に関する諸会議

会計監査	4. 5.10	(1) 令和3年度決算について (2) その他
幹事会 (第1回)	4. 6. 2	(1) 令和3年度事業報告並びに収支決算について (2) 監査報告について (3) 令和4年度事業計画(案)・予算(案)について (4) 役員選任について (5) 懸案事項に係る検討委員会の設置について (6) 同窓会奨学金について (7) その他
(第2回)	4. 9. 1	(1) 令和4年度「総会・懇親会」開催について (2) 「全国支部長会議」開催について (3) その他
(第3回)	5. 1.13	(1) 「令和4年 拡大全国支部長会議」終了報告 (2) 「第2回幹事会」終了報告 (3) 令和4年度「卒業祝賀会」について (4) 令和5年度事業の実施方針について (5) 会則の検討について (6) その他
評議員会	4. 6.24	(1) 令和3年度事業報告並びに決算について (2) 監査報告について (3) 令和4年度事業計画(案)・予算(案)について (4) 役員選任について (5) 懸案事項に係る検討委員会の設置について (6) 同窓会奨学金について (7) その他
拡大全国支部長会議	4.10.22	(1) 北海学園大学のこれから(安規理事・学長の講演) (2) 支部活動について(報告・意見交換)
正・副会長会議(第1回)	4. 4.22	(1) 副会長の選任について (2) 役員任期と定年制について (3) 役員・評議員の選出の仕方について (4) 会則の検討について (5) その他
(第2回)	4.12. 6	(1) 役員に関する任期・重任・定年について会則変更(案) (2) 第3回「幹事会」の実施について (3) 令和4年度「卒業祝賀会」について (4) 令和5年度事業について (5) その他
企画等委員会 (第1回)	4. 8.30	(1) 森本正夫先生顕彰事業について (2) 結成70周年記念事業について (3) 「同窓の夕べ」について
(第2回)	4. 9. 8	(1) 「同窓の夕べ」について (2) 結成70周年記念事業について
広報・母校連携等検討委員会 (第1回)	4.12.19	(1) 広報活動について (2) 母校連携について (3) 寄付活動の推進について
(第2回)	5. 2. 7	(1) 広報活動について (2) 母校連携について (3) 寄付活動の推進について
会則・組織検討委員会 (第1回)	4. 7.25	(1) 役員選考の可視化 (2) 定年制 (3) 外部監査役の登用
(第2回)	4. 8. 2	(1) 役員選考の可視化 (2) 定年制 (3) 外部監査役の登用
(第3回)	5. 3.15	(1) 役員選考の可視化 (2) 定年制 (3) 外部監査役の登用
本部事務局会議 (第1回)	4. 7.11	(1) 懸案事項に係る検討委員会の設置について (2) その他
(第2回)	4. 8.19	(1) 懸案事項に係る検討委員会の設置について (2) その他
学内事務局会議 (第1回)	4. 5.25	(1) 第1回「幹事会」開催について (2) その他
(第2回)	4. 6.22	(1) 令和4年度「評議員会」開催について (2) その他
(第3回)	4.10.18	(1) 令和4年「拡大全国支部長会議」について (2) その他
(第4回)	4.12.15	(1) 今後の事業計画について (2) 第3回「幹事会」について (3) 令和4年度「卒業祝賀会」について (4) その他
(第5回)	5. 3.29	(1) 令和5年度行事日程(案) (2) (仮称)100円食堂の実施について (3) 奨学事業について (4) その他
(打合せ)	4. 7. 4	(1) 本部事務局会議(7/11)の事前打ち合わせ (懸案事項意見交換)
会報部会 (第1回)	4. 6. 8	(1) 「豊平会報」第89号の編集の件について (2) その他
(第2回)	4.11. 9	(1) 「豊平会報」第90号の編集の件について (2) その他 (中止) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「卒業祝賀会・新会員入会歓迎会」は中止されたため会議は開催しなかった。

II. 特別事業

- 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金へ寄付を継続してきたが、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出が行えない状態となってきたため、本会としては引き続き国際交流事業を継続し、100万円を国際交流教育振興資金に寄付をした。(32回目)
- 北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づく本会奨学事業を実施するため、228万円を奨学金として支出した。また、新型コロナウイルスによる困窮学生支援のため、緊急措置として492万円を奨学金として支出した。
○奨学事業の実施に関する諸会議
奨学選考委員会
奨学生認定証授与式
選考は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため正・副会長で行い、認定証授与式は中止とした。
- 総合名簿作成事業積立金は、発刊の見込みが立たないため中止した。
- 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、同窓会結成70周年(令和6年)にむけて業者にデザイン(案)を発注した。
- 森本正夫前同窓会長顕彰事業を学校法人・森本ゼミ会等関係団体と連携して実施した。

令和5年度 事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

北海学園大学同窓会は、会則第2条に掲げる目的達成のため以下の事業を行う。

I. 一般事業

1. 会報の発行

- ・会員に豊平会報第91号・第92号を発行し、併せて予備会員(在学生)にも配布する。
- ・令和4年度で会報の発行が第90号を迎えたので、1号から90号までを冊子化及び、デジタル化の上、同窓会ホームページに掲載する。

2. 会員管理

- ・同窓会ホームページ: 令和4年度に更新したが、引き続き機能向上に努め、会員相互の親和性向上を図る。
- ・新会員名簿の作成: 令和5年度新会員(令和5年9月・令和6年3月卒業)名簿を事務局管理用として作成する。
- ・会員管理システムの更新: 同窓会事務局を現在の学校法人所管から大学への移管に併せて、大学学事システムとの接続を目指す。移管には至らなかったため引き続き協議を進める。

3. 卒業祝賀会・新会員入会歓迎会の開催

- ・令和5年度卒業祝賀会・新会員入会歓迎会を、大学院、大学の卒業証書・学位授与式(3月20日(水・祝))終了後、大学・学生自治会と共催で開催する。なお、実施にあたっては大学と協議して慎重に進める。

4. 母校行事への協力

- ・予備会員である在学生及び課外活動に対して助成を引き続き行う。学校行事を通して、大学との交流を促進する。
- ・ホームカミングデーの開催: 同窓会・大学共催による第13回ホームカミングデーの実施について大学と協議する。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による困窮学生支援の緊急措置として、3年間実施した奨学金の拡大措置は、社会状況も平時に移行しつつあることから今年度は実施を見合わせる。
- ・在学生の経済支援と健康管理のため、安全で安価な食事を学生食堂で一日300食×5回×2回程度、100円食堂の名称で実施する。

5. 支部等との連携強化と育成

- ・地域支部・職域支部・同期会・クラブOB会などと連携を深め、支部活動や同期会・OB会活動を活性化するとともに、要請がある場合は「個人情報保護法」に基づき利用目的を明示したうえで会員情報の提供をおこない、支部活動の支援を図る。また、支部の活動活性化のため引き続き助成を行う。

6. 同窓会記念品の作成

- ・オリジナルグッズを作成し、同窓会結成70周年(令和6年)にむけて充実を図る。

7. 全国支部長会議 総会・懇親会の開催

- ・総会に集う全国の支部長による支部活動報告・意見交換を、総会に先立ち10月21日(土)に開催する。
- ・本年度総会は、社会情勢を考慮しつつ、会場・会員の意見を参考に10月21日(土)に開催する。

(担当: 協力団体・支部)

経済学部1部経済学科53期(平成18年卒)	同経営学科39期(平成19年卒)	経済学部2部経済学科40期(平成8年卒)	同経営学科28期(平成8年卒)	法学部1部35期(平成13年卒)	同2部35期(平成13年卒)	工学部社会環境工学科1期(平成18年卒)	建築学科35期(平成18年卒)	電子情報工学科24期(平成26年卒)	人文学部1部日本文学学科23期(平成31年卒)	同1部英米文化学科23期(平成31年卒)	同2部日本文学学科23期(平成31年卒)	同2部英米文化学科23期(平成31年卒)	及び体育会本部OB会、体育会OB連合会、文化協議会OB会、応援団OB会、クラブOB会、ゼミOB会、地域・職域支部等。
-----------------------	------------------	----------------------	-----------------	------------------	----------------	----------------------	-----------------	--------------------	-------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	--

8. 諸会議の開催

- ・評議員会、幹事会を開催し会務の充実発展に努める。

9. 同窓会議室の開放

- ・令和4年12月から使用を開始した「同窓会議室」について、引き続きより有効な活用方法の検討を図る。

II. 特別事業

1. 国際交流教育振興資金

- ・同資金は、学校法人北海学園が、北海学園創基・大学創立及び本会結成を記念し、国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金を設立したため、本会はこの趣旨に賛同し、寄付を継続してきたものである。以後、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出を行うため、同基金を取り崩し、現在は、国際交流教育振興資金として運用されている。今年度も引き続き100万円を寄付する(33回目)。

2. 同窓会奨学費

- ・北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づく本会奨学事業を実施する。
- ・今年度から、学部生19名分228万円に加え大学院修士課程5名分60万円を加えた奨学事業を実施する。

3. 森本正夫先生顕彰事業

- ・北海学園奨学金第4種を「森本正夫記念奨学金」に名称を変更した。
- ・始期は令和5(2023)年度4月
- ・森本正夫前同窓会長顕彰事業を学校法人・森本ゼミ会等関係団体と連携して実施する。

4. 同窓会結成70周年記念事業費

- ・同窓会結成70周年事業費として200万円を積立てる(3年計画の2年目)

5. 保守・運営委託業務

- ・同窓会ホームページの活用推進
- ・同窓会ホームページは令和4年度に更新したが、引き続き機能充実に向けて取り組む。
- ・広報活動強化のため、株式会社ラボラト(同窓会デジタルアーカイブの作成)、大学プレスセンター(大学機関の情報発信に特化したプレスリリース配信)それぞれに業務委託契約を行う。

6. 歴史・資料の保存

- ・本学及び同窓会の歴史資料及び先輩からの聞き取りを行い、資料の充実を図る。

令和4年度 一般会計収支決算書

(一般会計)

(収入)

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 (単位 円)

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 同窓会費, 同窓の夕べ会券, 雑収入, 受取利息, and 合計.

(支出)

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 事業費, 会議開催費, 特別事業費, 総務・事務局運営費, 保守運用委託料, 備品費, 予備会費返戻費, 予備費, 次年度繰越, and 合計.

(予備会費)

(収入)

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 (単位 円)

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 予備会費(前年度繰越分), 予備会費(当年度分), 受取利息, and 合計.

(支出)

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 一般会計へ繰り出し, 受取利息, 予備会費(繰越分), and 合計.

(特別事業)

(収入)

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 (単位 円)

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 特別事業積立金収入, 受取利息, (予備会費)次年度繰越, and 合計.

(支出)

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 記念事業費支出, 教育支援事業費支出, 次年度繰越金, and 合計.

令和5年度 一般会計収支予算書

(一般会計)

(収入)

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日 (単位 円)

勘定科目	本年度予算額	前年度決算額	差異	摘 要
前年度繰越金	31,008,341	34,509,254	-3,500,913	
同窓会費	[30,030,000]	[31,350,000]	[-1,320,000]	
当年度繰入分	30,030,000	31,245,000	-1,215,000	特別会計より繰入 ¥15,000×2002名(令和元年度入学者分)
当年度編入学者分	0	105,000	-105,000	
同窓のタバコ券収入	2,000,000	0	2,000,000	@5000*400
諸会議収入	350,000	0	350,000	@5000*10 @1000*150
雑収入	200,000	105,000	95,000	ご祝儀他
受取利息①	1,000	457	543	
受取利息②	2,000	1,977	23	予備会費受取利息から一般会計へ振替
合計	63,591,341	65,966,688	-2,375,347	

(支出)

勘定科目	本年度予算額	前年度決算額	差異	摘 要
事業費	[41,500,000]	[20,923,661]	[20,576,339]	
会報発行費	13,800,000	9,937,843	3,862,157	『豊平会報』印刷代 発送費代 取材諸経費 会報部会開催費 会報(第1号から第90号)冊子化及び電子データ化予算
会員管理費	5,500,000	2,820,281	2,679,719	HP機能更新・会員管理システム更新・名簿作成等
新会員歓迎費	7,000,000	3,322,990	3,677,010	入会式 卒業記念品 学科幹事委嘱状印刷
母校行事協力費	8,700,000	1,836,742	6,863,258	学生団体助成(大学祭・体育文化団体・大学祭)食支援事業
支部活動支援費	5,500,000	2,865,995	2,634,005	支部総会開催助成・全国支部長会議・評議員会・会議等出席旅費
同窓会記念品作成費等	1,000,000	139,810	860,190	オリジナルグッズ作成費等
会議開催費	[6,500,000]	[1,701,240]	[4,798,760]	
総会開催費	4,000,000	0	4,000,000	総会開催経費・開催案内新聞広告費等
諸会議費	2,500,000	1,701,240	798,760	評議員会・幹事会他
特別事業費	[7,880,000]	[10,200,000]	[-2,320,000]	
国際交流教育振興資金	1,000,000	1,000,000	0	国際交流に寄与する資金として北海学園へ寄付(33回目)
同窓会奨学金	4,880,000	7,200,000	-2,320,000	奨学金事業 ¥120,000×19名= ¥2,280,000 修士課程 ¥120,000×5名= ¥600,000 緊急対応奨学金 2,000,000
同窓会結成70周年事業費	2,000,000	2,000,000	0	特別事業予算へ繰り出し(3年計画の2年目)
総務・事務局運営費	2,500,000	1,228,800	1,271,200	事業記録作成・通信費運搬費・封筒印刷・慶弔費・振込手数料・交通費他
保守運用委託料	2,000,000	448,280	1,551,720	ホームページ委託・デジタルアーカイブ記録作業・広報発信の業務委託。
備品費	500,000	456,366	43,634	事務機材等保守
予備会費返戻費	150,000	0	150,000	PC更新・事務室備品整備他
予備費	2,561,341	0	2,561,341	退学者の申し出による会費の返戻
次年度繰越	0	31,008,341	-31,008,341	
合計	63,591,341	65,966,688	-2,375,347	

(予備会費)

(収入)

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日 (単位 円)

勘定科目	本年度予算額	前年度決算額	差異	摘 要
予備会費(前年度繰越分)	116,130,000	116,670,000	-540,000	予備会費令和元年度～令和4年度入学者
予備会費(当年度分)	27,450,000	30,705,000	-3,255,000	令和5年度入学者 @15000*1830
受取利息	2,000	1,977	23	
合計	143,582,000	147,376,977	-3,794,977	

(支出)

勘定科目	本年度予算額	前年度決算額	差異	摘 要
一般会計へ繰り出し	30,030,000	31,245,000	-1,215,000	会費令和4年度卒業生(令和元年度入学者)
予備会費(繰越分)	113,550,000			令和2年度～令和5年入学者
受取利息	2,000	1,977		予備会費受取利息
次年度繰越積立金	0	116,130,000	-116,130,000	令和1年度～令和4年入学者
合計	143,582,000	147,376,977	-3,794,977	

(収入)

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日 (単位 円)

勘定科目	本年度予算額	前年度決算額	差異	摘 要
前年度繰越金	68,349,598	58,688,685	9,660,913	
特別事業積立金収入	2,000,000	2,000,000	0	同窓会結成70周年事業費として、事業年(令和6年度)迄三年間積立てる。
森本正夫先生顕彰事業寄付金	1,200,000	0	1,200,000	森本正夫先生銅像建立寄付金
受取利息	1,000	1,334	-334	
(予備会費)次年度繰越	0	7,659,579	-7,659,579	
合計	71,550,598	68,349,598	3,201,000	

(支出)

勘定科目	本年度予算額	前年度決算額	差異	摘 要
記念事業費支出	0	0	0	
教育支援事業費支出	0	0	0	
森本正夫先生顕彰事業費	800,000	0	800,000	銅像建立に係る同窓会負担金
次年度繰越金	70,750,598	68,349,598	2,401,000	
合計	71,550,598	68,349,598	3,201,000	

事務局からのお知らせ

◆支部長交代

- 豊陽会 令和5年4月1日付(評議員兼務)
元紺谷 尊広氏 → 久保 肇氏(経I経35期・昭和63年卒業)
- 北社会 令和5年4月1日付(評議員兼務)
山越 明博氏 → 久野 俊一氏(工土12期・昭和58年卒業)
- 山岳部OB会 令和5年4月1日付(評議員兼務)
名越 茂氏 → 小幡 隆氏(経I経24期・昭和52年卒業)
- 帯広信用金庫支部 令和5年5月20日付
阿部 秀男氏 → 横内 寿一氏(経I営24期・平成4年卒業)
- 小樽支部 令和5年5月25日付(評議員兼務)
山本 忠広氏 → 佐藤 禎洋氏(経I営16期・昭和59年卒業)
- 北海学園大学支部 令和5年5月26日付(評議員兼務)
藤井 勝彦氏 → 片野 景祐氏(法I法26期・平成4年卒業)

◆訃報

高橋 功氏
 経I経12期・昭和40年卒業
 卒業期評議員(平成23年~令和5年)
 体育会連合OB会長
 令和5年5月17日逝去(80歳)
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



◆北海学園大学『学報』・北海商科大学『学報』・北海校校友会『校友だより』

各校の学報や校友だよりは、下記のQRコードよりご覧いただけます。

北海学園大学
『学報』



北海商科大学
『学報』



北海校校友会
『校友だより』



住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料)、ホームページ(<https://dousou.hgu.jp/>)、E-Mail(doso.hgu@k8.dion.ne.jp)、FAX(011-816-1001)にてお知らせくださいますようお願いいたします。また、旧番地表記のため返還されるケースが増えております。住居表示の変更につきましても上記のいずれかでご連絡をお願いいたします。その他のご連絡、会報が不要な方は通信欄にご記入をお願いいたします。会報の発送作業の関係上、変更が間に合わない場合がございますので予めご了承ください。個人情報同窓会活動以外には使用いたしません。

北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
 TEL: 011-841-1161 (内線1148・1168)
 FAX: 011-816-1001
 E-Mail: doso.hgu@k8.dion.ne.jp
 ホームページ: <https://dousou.hgu.jp/>



北海道
ノスタルジー散歩



「炭鉱(ヤマ)の記憶 夕張」

梅本 成利 作

経済学部1部経済学科 第29期・昭和57年卒業